

9月市議会  
一般質問

# 「小中一貫校」の検討は慎重に 検討委員会で考慮すべきことを要望しました

福生市教育委員会は自ら任命した委員によって「令和における福生市立学校の在り方検討委員会」を立ち上げ、「小中一貫校」に向けた検討を行っています。私は一般質問で以下の点について指摘し、「小中一貫校」がなぜ必要なのかを政治的動機からではなく、教育的意義から慎重に検討すべきことを指摘しました。

## ① 市民から公募した委員を加えるべき

委員はすべて市教委の任命で、市民公募の委員がないことは、市の基本方針の枠内での議論に終始する懸念が残ります。

## ② 学校統廃合を既定のことに前提にしないこと

市が検討委員会に示した資料は、財源不足を理由に、小学校数は4校で充足と説明しています。しかし、私は財源は十分にあることを繰り返し論証しています。したがって、子どもたちにとって教育的に7校が必要であるなら、それを前提として「小中一貫校」を検討すべきです。公共施設20%削減には学校数削減が不可避という市の方針のために「小中一貫校」を利用すべきではありません。

## ③ 人口減少、児童数減、小学校数削減を前提にすべきではない

同資料では、市は児童数の減少を既定のものとして、小学校数削減を言っています。東京26市中で福生市が一番人口減少率が高いのには理由があるはずで、その原因に対する対策をこそ打つべきです。児童数減が続くことを前提にして検討委員会で「小中一貫校」を議論することは正しくありません。

## ④ 少人数学級の推進を考慮しない「小中一貫校」はあり得ない

福生市教育委員会は少人数学級については35人学級までしか想定していません。しかし、世界標準はすでに30人学級や20人学級です。そうするとたくさんの教室が必要になります。検討委員会ではこのことも議論すべきです。

日本共産党  
福生市議会議員

池田 公三  
いけだ こうぞう  
がご相談に応じます。

相談の日は  
調整いたします。



伊藤も伺います

日本共産党  
福生市議団ニュース

福生市議 池田公三  
☎ 090-7946-5137  
2022年10月号外

## なんでも生活相談

11月のなんでも生活相談会のお知らせです。日々の生活で困っているのに、誰にも相談できずにいる方はいらっしゃいませんか。どうぞお気軽にご相談ください。

日時 11月23日（水）午後7時から

場所 池田公三事務所（駐車場あります）  
福生市志茂115 アイエスマンション101号室  
Tel 042-530-0705

